

10月27日(金)

13:30~16:00 OCT IVUS



コーディネーター
及川 裕二
心臓血管研究所付属病院

座長
伊藤 良明 済生会横浜市東部病院
中澤 学 東海大学付属病院

イメージングデバイスは、適切なPCIを行うために重要な役割を担っております。イメージングデバイスにより、ストラテジー、デバイスサイズの決定はもちろん、CAGでは読み切れないプラーク性状も観察可能であります。さらに、そのイメージングデバイス所見の詳細な検討が、CAG読影にフィードバックされ、PCI術者の適切なストラテジー選択に寄与します。本セッションでは、IVUS、OCTの能力を最大限に引き出し、クオリティの高いPCIを行うためのイメージングデバイス利用方法について解説いただきます。PCI実践に役立つ内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

1. IVUSガイドによるステント留置法

寺村 真範 一宮西病院

2. OCTガイドによるステント留置法

鈴木 孝英 JA北海道厚生連 旭川厚生病院

3. IVUS所見から治療方針を考える

(石灰化、入口部、分岐部、びまん性病変)

船田 竜一 群馬大学医学部附属病院

4. OCT所見から治療方針を考える

(石灰化、入口部、分岐部、びまん性病変)

大竹 寛雅 神戸大学医学部附属病院

5. IVUS vs. OCT

管家 鉄平 華岡青洲記念心臓血管クリニック

10月28日(土)

8:30~11:50 分岐部



コーディネーター
芦田 和博
聖隷横浜病院

この度、CCT Fellow courseとして分岐部病変をオーガナイズすることになりました。我々がPCI治療を患者さんに提供するにあたって、常日頃から遭遇することが多い複雑病変の1つが分岐部病変です。また、夜間緊急対応するACS症例にも一定の頻度として含まれる以上、独り立ちし始めた若手の術者も含め、全ての術者にとって避けて通れない分野でもあります。今回のFellow courseでは、若手術者を主な対象として、実臨床に即したレクチャーを用意致しました。講師の先生方も日常診療の現場で、即戦力として活躍されている先生方をお願いしましたので、教科書的な内容だけではなく、より実践的なtips and tricksも学べると思います。分岐部の解剖、生理的な特徴から、その治療戦略、ステント留置方法。覚えておくべき合併症とそのベイルアウトまで、系統だって学べるcourseになってます。また、参加された先生方からの活発な質疑、日頃の分岐部PCI治療でお困りな点など率直な御意見もこの機会に頂戴頂けると幸いです。このcourseに参加された先生方にとって、明日からの各地域での診療にお役に立つことが出来れば望外の幸せです。皆様の積極的な参加をお待ち申し上げます。

8:30~10:10

座長
船津 篤史 京都桂病院
山田 慎一郎 北播磨総合医療センター

流体力学から見た分岐部病変とステントデザインの違い

小西 崇夫 北海道循環器病院

CTAの読影およびCTAから考える治療戦略の立て方

管家 鉄平 華岡青洲記念心臓血管クリニック

Plaque modification (Rotablator)

櫻井 将之 おおたかの森病院

Plaque modification (DCA)

櫻井 将之 おおたかの森病院

Plaque modification (Scoring)

西尾 壮示 草津ハートセンター

10:10~11:50

座長
岡山 英樹 愛媛県立中央病院
奥津 匡暁 川崎医科大学総合医療センター

Single stentingのやり方・考え方

松尾 崇史 国立病院機構長崎医療センター

Double stentingのやり方・考え方

角谷 誠 加古川中央市民病院

分岐部病変特有のComplicationとその対策、bail-out法

山脇 理弘 済生会横浜市東部病院

分岐部病変特有のComplicationとその対策、bail-out法

道明 武範 小倉記念病院

Complex Cardiovascular Therapeutics 2017

F CCT2017 Fellow Course

日時 ▶ 2017 10月26日(木)・27日(金)・28日(土)

会場 ▶ 神戸国際展示場 2号館 2F Room 8



CCT2017 Fellow Course



CCT2017
Coronary Course Director
那須 賢哉
豊橋ハートセンター

CCT 2017では若手の先生方にもライブから多くの手技を学んでいただけるようFellow courseを開設します。講師は、interactiveな意見交換ができるように、第一線で活躍されている若手の先生方をお願いしました。分岐部病変、石灰化病変、慢性完全閉塞病変の3つの病変群にフォーカスし、基礎から応用までの習熟を目的としています。CCT期間中、午前中にFellow Courseを開催し、午後にはライブを見て頂き、より理解を深め、ライブを楽しんでいただけるように構成しました。若手の先生方のskill upにつながることを信じております。是非、御参加ください。

10月26日(木)

8:30~12:20 CTO



コーディネーター
岡村 篤徳
桜橋渡辺病院

CTO PCIの手技は、術前情報を十分に収集し、適切なストラテジーを考えることが重要です。またストラテジーで選択される手技を理論的に適切に行うことも重要です。このセクションは、CTO PCIの手技をすべて網羅する内容で構成されており、現在第一線でCTO PCIを多く行われている術者の先生方に、実際に経験されたことを踏まえて、下記の各項目を説明していただきます。若手の先生方で、CTO PCIを始められる先生や、より深められたい先生方に有用な情報を得ていただけたらと思います。

8:30~10:30 Part 1

座長
秋田 雄三 大阪府済生会泉尾病院
寺本 智彦 一宮西病院

術前の冠動脈造影の行い方と読影法

道明 武範 小倉記念病院

術前のストラテジーの立て方

石原 昭三 耳原総合病院

術前のCT情報の活用方法

長谷川勝之 東宝塚さとう病院

病変別の至適な冠動脈造影・透視の方向

長谷川勝之 東宝塚さとう病院

アンテグレードアプローチのワイヤー選択と操作法

栗田 泰郎 三重大学

レトログレードアプローチのチャンネルの選択

永松 航 北摂総合病院

レトログレードチャンネルの通過法：マイクロカテとワイヤーの選択と操作法

加藤 大雅 加賀市医療センター

レトログレードチャンネルをマイクロカテが通過しない時の対処法

松尾 浩志 石切正喜病院

10:40~12:10 Part 2

座長
唐原 悟 鎌ヶ谷総合病院
浜中 一郎 洛和会丸太町病院

Reverse-CART

八巻 多 名寄市立総合病院

Reverse-CARTが成立しない時のワイヤーの通過法

平瀬 裕章 高岡市民病院

IVUS guide rewiring

武田 吉弘 りんくう総合医療センター

合併症：予防と対策

越田 亮司 時計台記念病院

チャンネル損傷：予防と対策

関口 誠 深谷赤十字病院

CTO病変に対する治療で避けるべき手技

田辺 正喜 京都岡本総合病院

10月26日(木)

14:00~16:00 Physiology (FFR)



コーディネーター
羽原 真人
豊橋ハートセンター

座長
川瀬世史明 岐阜ハートセンター
栗田 泰郎 三重大学

1. 冠循環の基礎とFFRの概念：計測値の解釈に注意する点など

川瀬世史明 岐阜ハートセンター

2. 各種最大冠拡張誘発方法と各種ワイヤーの使い分けと問題点

藤田 浩志 名古屋市立大学大学院

3. iFRの概念とFFRとの違いと使い分け

蔵光 昭一 小倉記念病院

4. 他Modalityとの違いと将来像：心臓MRI、FFR-CTなどとの比較

栗田 泰郎 三重大学

5. FFR Differ後の患者の予後：ポーターラインの患者はどうすべきか

加畑 充 荻窪病院

6. FFR PCIにこう使う

船田 竜一 群馬大学医学部附属病院

10月27日(金)

8:30~12:20 石灰化病変を克服する



コーディネーター
川崎 友裕
新古賀病院

石灰化病変は日常臨床でも高頻度に遭遇する複雑病変の一つで、高度石灰化病変であれば治療に難渋することも少なくありません。治療に際してはロータブレードによる前処置が有用ですが基本的な使用方法やピットフォールを熟知する必要がある、一方で施設基準のためロータが使用不可能な施設ではロータ以外のデバイスで対処しなければいけない現状も多くあるようです。

今回は「石灰化病変を克服する」というテーマを掲げ、ロータの基本的な使用方法や、ロータに代わる新たなデバルキングデバイスである「ダイヤモンドバック」、各種スコアリングデバイスによる治療の可能性や、更には石灰化病変治療におけるピットフォールを、症例を通じて幅広く学習できるセッション構成をしています。是非とも若手の先生方に多くご参加頂き、石灰化病変に対する治療法を勉強していただければと思います。

8:30~10:15

座長
阿部 秀年 松本協立病院
栗山 根廣 宮崎県医師会病院

1. Rotablatorはこう使う

基本的手技と、高速回転アブレーション

阿部 秀年 松本協立病院

低速回転アブレーション

川尻 健司 松原徳洲会病院

新たなDebulking Device (Diamond Back) の可能性

柴田 剛徳 宮崎県医師会病院

2. 石灰化治療でイメージングデバイスを使いこなすIVUS

船田 竜一 群馬大学医学部附属病院

OCT

名越 良治 大阪府済生会中津病院

10:20~12:20

座長
奥津 匡暁 川崎医科大学総合医療センター
細木 信吾 高知医療センター

3. Rotaを使わずに治療する

NSE balloonで治療する

寺本 智彦 一宮西病院

ScoreFlex balloonで治療する

長友 大輔 済生会福岡総合病院

Cutting balloonで治療する

眞榮平直也 牧港中央病院

AngioSculpt balloonで治療する

松尾 浩志 石切正喜病院

4. 石灰化病変治療のピットフォール(症例提示)

中田 円仁 那覇市立病院

石原 昭三 耳原総合病院

古賀 久士 新古賀病院